

施策評価調書(28年度実績)

施策コード Ⅲ-1-(7)

政策体系	施策名	変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学びの支援	所管部局名	教育庁	長期総合計画頁	147
	政策名	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造	関係部局名	教育庁		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	多様な学習活動への支援	社会全体の「協育」力の向上	コミュニティの協働による 家庭教育支援の推進

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する 取組No.	基準値		28年度			31年度	36年度	目標達成度(%)				
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125
i 公立図書館の利用者数(万人)	①	H26	229	232	252	108.6%	237	245					
ii 「協育」ネットワークの取り組みに参加する地域住民の数(万人)	②③	H26	7.8	8.4	8.3	98.8%	9.3	10.6					

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等			平均評価
i 達成	読書推進活動により公立図書館における他部局との連携や読書イベントが充実したほか、臼杵市及び日出町における公立図書館の新改築並びに中津市における開館時間の延長などにより、利用者が増加し、目標値を達成した。			達成
ii 概ね達成	中学生学び応援教室の開設など活動内容を充実したことにより、目標値を概ね達成した。			

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・地域「協育」サポートリーダー育成講座を開催(受講者49人)し、地域教育力の向上を担う人材を育成した。
②	・社会教育関係団体の会員等を対象に「地域活動実践交流会」を実施したことにより、団体間の連携が図られ、地域における子どもの見守りや相談・連絡体制が構築されるなど、地域教育力が向上した。 ・地域人材を活用した放課後等の活動に11,814人の児童・生徒が参加した。(H27年度比+585人)
③	・「協育」ネットワークを基盤とした「協育」力を活かし、学校・家庭・地域をつなぐ家庭教育支援体制の整備を図ったことにより、家庭教育支援の取り組みに参加する地域住民が377人増加した。(H27:2,815人→H28:3,192人)

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(28年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	29年度の方向性	
①②③	地域教育力パワーアップ事業	27,112	A	継続・見直し	224
②	放課後・土曜学習支援事業	56,679	A	終了	223

【VI. 施策に対する意見・提言】

○第3回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H28.7)
 ・大人が勉強する地域でなければ子どもの学習意欲も湧いてこないため、図書館・公民館の役割の見直しが必要。図書館等において市民の自発的な生涯学習が行われることで、子どもたちの意欲がかき立てられる。市町村と連携し、県内各地に活気のある図書館・公民館を作ってほしい。

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートリーダー育成講座を実施し、H29年度までに全市町村に地域「協育」サポートリーダーを配置する。 ・読み聞かせグループやPTA等社会教育関係団体と連携し、公立図書館や公民館等において地域の歴史や文化を始めふるさとの魅力を大人から子どもたちへ伝承する機会を創出することにより、子どもたちの学ぶ意欲を高める取り組みを促進する。 ・子どもたちへの補充学習や体験活動の機会拡大のため、新たな地域人材の確保と校区の枠を超えて地域人材を活用できる仕組みを構築するとともに、地域人材である支援者自身の生きがいづくりや地域コミュニティの再構築を促進する。 ・家庭教育の意義や必要性に係る理解を深めるため、家庭教育推進キャラバンの実施等により「おおいた親の学びプログラム」の普及啓発を図る。